



主な内容

主な条例・補正予算	7
決算審議	8
一般質問	8~9
議案・陳情の結果	10

平成19年11月1日 編集・発行／和光市議会議会運営委員会 〒351-0192 埼玉県和光市広沢1-5 TEL 048-464-1111 http://www.city.wako.saitama.jp

9月定例会開催状況

■8月	30日(木)	本会議(開会・提案説明)
■9月	4日(火)	本会議(議案質疑)
	5日(水)	決算審査特別委員会
	6日(木)	決算審査特別委員会
	7日(金)	決算審査特別委員会
	10日(月)	決算審査特別委員会
	11日(火)	決算審査特別委員会
	12日(水)	決算審査特別委員会
	13日(木)	委員会
	14日(金)	本会議(一般質問)
	18日(火)	本会議(一般質問)
	19日(水)	本会議(一般質問)
	20日(木)	本会議(一般質問)
	25日(火)	本会議(討論・採決・閉会)

主な条例など

和光市駅北口土地区画整理事業の施行規程条例案を可決

平成19年9月定例議会が8月30日から9月25日まで27日間にわたって開かれました。今定例会は市長から提出された報告2件、議案20件、請願1件が提出されました。また、議員提出の意見書案3件が提出されました。そのあらましをお知らせします。

9月定例会で決まったこと

和光市駅北口土地区画整理事業の事業取得に向けて

今年度事業認可取得を目指し取り組んでいる、和光都市計画事業和光市駅北口土地区画整理事業の施行規程の条例案を可決しました。

継続費の精算報告

継続年度が終了した次の継続費2事業の精算報告を受理しました。

・(仮称)和光市総合体育館建設事業
・酒井浄水場改良事業

正 税条例、都市計画税条例の第3期納期を12月31日に改

地方税法等の一部改正に伴い、和光市税条例、和光市都市

計画税条例の改正案を可決しました。

医療費の負担割合が変更

70歳から74歳までの被保険者(一定以上の所得を有する者を除く)の療養の給付に係る一部負担金の割合を2割に、また3歳未満までであった2割負担の範囲を義務教育就学前までに拡大する条例案を可決しました。

市道路線の認定について

開発行為により市道611号線・612号線・613号線の3路線を市道として認定することを可決しました。

そのほかに、条例案4件を可決しました。

意見書

議員から意見書案3件が提出され、可決された意見書は関係機関に送付しました。要旨をお知らせします。

中小・零細企業の事業承継円滑化のための税制改正を求める意見書 (可決)

中小企業の廃業や事業承継をめぐる問題は、日本経済の発展を阻害する大きな要因となっています。中小企業の雇用や高度な技術を守り、事業承継を円滑にすすめていくために税の在り方や商法等、幅広く検討し、総合的な対策を早急に講じる必要

安心して住み続けられる都市再生機構(旧公団)住宅にすることを求める意見書 (可決)

だれもが安心して住み続けられる都市再生機構住宅を目指すために、次の事項を推進するよう強く要望します。1 都市再生機構(旧公団)住宅が住宅セーフティネットとしての役割を果たすよう政府と都市再生機構はその充実に努めること 2 住棟の転居、売却及び建てかえに当たっては、居住者に対して

非核三原則に関する国会決議を遵守することを求める意見書 (可決)

政府は、核兵器不拡散条約や国連の軍縮特別総会の呼びかけにこたえとともに、衆参両議院での「核兵器を持たず、作らず、持ち込ませず」という非核三原則に関する国会決議の立場を堅持すること。また、唯一の被爆国として、世界に向けて核廃絶のために積極的に行動することを強く求めます。

補正予算

平成19年度補正予算に関する5議案を可決しました。

会計別	補正額	補正後の総額	主な内容(○は歳入、●は歳出)	
一般会計	5億8,486万円	222億6,896万円	○市税 2億9,000万円(増額) ●消防署建設用地取得費 4億3,500万円(増額) ●道路改良に伴う用地取得費 9,980万円(増額) ●大和中学校校舎増築工事(今年度は取りやめ) 4億7,849万円(減額) ●財政調整基金積立金 1億7,348万円(増額) ●公共用地取得事業基金 1億3,000万円(増額)	
特別会計	国民健康保険	2億9,521万円	56億6,201万円	前年度歳計剰余金によるもの
	老人保健	1億1,699万円	32億9,613万円	社会保険診療報酬支払基金交付金及び国、県負担金の精算によるもの
	介護保険	9,389万円	21億6,062万円	サービス費など予算の組み替え及び精算によるもの
	下水道事業	△83万円	13億9,561万円	事業費、市債利子の確定に伴う精算

※千の位は四捨五入

決算審議

堅実な財源確保と効果的な財政運営を

平成18年度一般会計及び各特別会計の決算について、決算審査特別委員会を設置し、6日間にわたり慎重に審議しました。その審議状況の主な内容をお知らせします。

質問 市債の総額のあり方をどう考えているか。

答弁 財政負担を平準化するためには、今後も一定の借り入れを行う必要があります。今後は特例債がなくなっていく、建設地方債だけになるなかで、財政負担等を考え、適切な額を借り入れるよう慎重に財政運営を行っていきたくと考えています。

質問 決算カードのラスパイルズ指数が上がって、今回100.0になったのはなぜか。

答弁 給与構造改革のタイムイングが異なり、給与引き下げが国より遅れたためです。

質問 文化振興公社の文化センター特別会計において租税公課が大幅に増加した理由は。

答弁 利益が上がらないこと

を前提に予算を作成しましたが、実施事業等が予定どおり開催されない等により1,683万6,503円の差金が生じ、この差金について、課税されました。

質問 年度計画になかった市道路線工事について、補正予算を組まなかった理由は。

答弁 予測できない隅切り等の用地提供があり、入札の請負差金の範囲内で工事を行いました。

質問 古民家の業務委託について、契約内容はどうなっているのか。市民にはどこまでが委託されたのか。

答弁 新倉ふるさと民家園運営業務委託という契約です。企画の他、門の開閉等の管理もお願いしました。

質問 短期被保険者証の平成18年度の発行数は。

答弁 平成18年4月1日時点で192世帯、10月1日時点で該当世帯は373世帯です。該当者は滞納額20万円以上で設定しています。

質問 下水道使用料の未請求に関して、平成18年度分の集計結果は。

答弁 平成19年3月30日現在で3月検針日以降の実世帯数が12世帯増えて251世帯になり、さらに転出者128世帯を含めると、最終的に合計で379世帯となっています。平成18年度分は211万262円で合計で915万3,463円です。なお、4月に納入された金額は137万1,863円で、平成18年度決算に反映されています。

市政に対する

一般質問

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをただすもので、定例会に限って行われます。質問を希望する議員は、議長に対して質問事項を通告し、執行機関に答弁を求めます。今定例会の一般質問は、9月14・18・19・20日の4日間行われ、18名の議員が市政全般の諸問題について質問をしました。今回に限って、質問通告書に基づいて質問のみを掲載しました。

井上 航（新しい風）

- 1 和光市の都市像について**
- 10年、20年先を見据えた和光市の景観・街並み・都市機能について
 - 「子育て支援マンション認定制度」の検討を
 - 「親子カフェ」の開設提案
 - 駅前通りの電線類地中化工事
 - 地中化工事に伴う街路樹の扱いについて
- 2 各研究機関との連携**
- 学術連携（小・中学校の教育カリキュラム連携の提案）
 - 地域との連携
 - 外環道路上部利用施設の必要性について
 - 宿泊施設
 - リムジンバスターミナル
 - 利用現状と今後のニーズ
- 3 「働く」まちづくり**
- 市民の就業機会拡大政策
 - 地域職業相談室（地域ハローワーク）の開設について
 - 介護労働者支援と介護人材確保のための施策

須貝郁子（新しい風）

- 1 障がい者の社会的自立**
- 小・中学校におけるインクルーシブ
 - 普通学級に在学する支援を必要とする児童生徒の数と支援員の配置状況
 - 就労支援センターの設置
 - 多様な就労形態（日中活動場）の確保
 - グループホーム、ケアホームの整備状況と計画
- 2 文化財**
- 文化財の保全管理の状況
 - 市指定文化財及び暫定リスト（文化財をたずねて）の確認
 - 文化財指定の計画
 - 職員の充実
- 3 粗大ごみ処理施設**
- 粗大ごみ処理施設事故の原因と対策
 - 今後の対応
- 4 市民緑地制度**
- ふれあいの森の現状と今後の計画
 - 維持管理の方針
 - 契約期限の対応

村田富士子（公明党）

- 1 防災行政**
- 「緊急地震速報」システムの内容と市民への周知及び学校教育現場での導入への取り組み
 - 災害弱者に対する市の取り組みの進捗状況
 - 災害時における民間企業との応援協定
 - 洪水ハザードマップ作成の進捗状況
 - 浸水被害地域への抜本的対策の進捗状況
 - 住宅用火災警報器設置の啓発
- 2 道路行政**
- 水路の整備及び蓋掛けの改修と有効利用
 - 和光市駅南口の広場及び道路について
 - タクシー乗り場のバリアフリー化
 - 南口前道路の渋滞対策
- 3 市コミュニティ施設の設置**
- 地域センター9館構想の経緯と進捗状況
 - 下新倉4、5丁目地域センターの設置の早期実現を

堀 文雄（緑風会）

- 1 包括予算について**
- 予算の編成・執行要領が大きく変わる包括予算についての各部課等に対する教育指導の状況
 - 担当所管における編成作業の進捗状況と今後の予定
- 2 斎場施設の建設見直しについて**
- 外環上部丸山台地区への民間資本活用による建設の可能性
 - 民間で建設できない際の対応
- 3 公共施設の均衡ある配置（南北格差）について**
- 小・中学校の新設が必要では
 - 市役所出張所の駅北口、坂下地区への設置、図書館の移設は
- 4 市有地の有効活用について**
- 現在使われていない普通財産の件数・面積
 - 使用予定のある件数・面積
- 5 橋・下水道の保守点検について**
- 市管理の橋の数、下水道延長
 - 保守点検の周期・方法
- 6 文化行政について**
- 民家園の管理・運営について
 - 「清水かつら・大石まこと」の広報（普及・啓発）について

決算審査特別委員会

- ◎松本 武洋 ○村田 富士子
 ◎並木 修二 ○齊藤 秀雄
 ◎堀谷 文二 ○柳下 長治
 ◎熊井 谷上 航 ○阿部 かをる
- (◎委員長 ○副委員長)



ここを指摘しました

慎重審査の後、以下の事項を指摘し、今後の市政運営の改善が図られるよう求めました。

1. 出資法人、指定管理者、補助金団体の会計の透明性を確保すること
2. 市税等の収納については、対象者の生活実態に配慮しながら、さらなる収納率向上を図ること。また、収納方法についても検討すること
3. 業務委託等の契約については、コストだけではなく長期的な事業継続の観点から、さらなる契約制度の改善を図ること
4. 人件費の表示の方法については、決算書上の表示にとどまらず、適切な資料の提供に努めること

平成18年度各会計決算（※△はマイナス）

一般会計	歳入	247億4,446万7,093円
	歳出	232億3,729万6,053円
	差引額	15億0,717万1,040円
国民健康保険特別会計	歳入	55億1,335万7,588円
	歳出	52億1,814万7,476円
	差引額	2億9,521万0,112円
老人保健特別会計	歳入	33億2,139万8,046円
	歳出	32億1,357万7,898円
	差引額	1億0,782万0,148円
介護保険特別会計	歳入	19億4,944万3,344円
	歳出	18億8,361万6,506円
	差引額	6,582万6,838円
下水道事業特別会計	歳入	14億7,995万8,980円
	歳出	14億2,728万3,047円
	差引額	5,267万5,933円
水道事業会計	収益的収入	12億4,584万5,286円
	収益的支出	12億1,645万5,549円
	差引額	2,938万9,737円
	資本的収入	4,519万1,549円
	資本的支出	6億2,565万5,692円
	差引額	△5億8,046万4,143円

西川政晴（新しい風）

- 1 住民自治のまちづくりについて
(1) まちづくり条例は住民が受け入れにくいので、修正を視野に入れた質問を行いました
(2) 道路整備にあたっては、法律や構造例だけで設計するのではなく、高齢者の気持ちになつて設計するように要望しました
(3) 暗やみ診断後の施策について
照明器具を増すだけではなく、地域に合った夜間の景観から新しい地域づくりを提案しました
2 ごみの問題について
(1) ごみの削減に向けて、ごみの発生抑制の施策と進行状況を質問しました
(2) 粗大ごみ処理施設復旧の説明は、広域処理計画を前提とした内容でした。ごみ削減基本計画の本意と違いがありましたので真意を問いました
3 工事契約業務について
高額工事の発注業務で、安易な部分を是正する総合評価方式を取り入れることの、早期実施について質問しました

柳下長治（緑風会）

- 1 道路橋梁行政について
(1) 和光市道路整備実施計画について
① 今なぜこの計画なのか
② 強制力のある事業なのか
③ 買い取り価格をどのように決定していくのか
④ 仕事の進め方は
(2) 諏訪越四ツ木線、東上線上の橋について
① 橋の部分が丸山台・谷中西区画整理内に入らなかつた理由
② 陸橋に対する補助金は
2 外環道蓋かけ（丸山台農協協）
(1) 宿泊施設付の生涯学習センターやホテルが必要なのか
(2) 民間資本を活用するのか
(3) 蓋かけ上部権利・占用料はどのようなのか
3 商工行政について
(1) 20年度以降、商工業振興・活性化に対する展望
(2) 19年度和光市商工会補助金、1,200万円に対する評価は

並木修一（和光を良くする会）

- 1 市民協働・改革集中プランについて
(1) 市政の主役は市民というが、その対象は
(2) 市という組織はいかなる存在か
(3) 市民協働の指針について
市は市民のためにあることを常に認識しているか
(4) 事務事業の見直しについて
ゴールを明記した事務事業の見直しでない限り、効果が出ないのでは
2 広報紙の配布方法について
新聞折り込みからポスティングに変えるにあたり、どんな根拠で検討したのか
3 入札予定価格と地元業者の育成について
(1) 入札予定価格の根拠
(2) 地元業者の育成方針について
(3) 市長提案をなぜ検討しないのか
(4) 事務局長が上座に座っているのか
(5) 実質市の職員である事務局が提案を放置してよいのか

山本軍四郎（社会民主党）

- 1 定率減税廃止と市民への広報活動について
(1) 今年、課税所得がゼロになった人は市町村に申請すれば住民税を減額してもらえるが、市民への広報活動について
(2) 対象人員と申請をした人数について
2 教職員不足の理由
総務省統計局人口データで、和光市の教職員不足は全国で804番であるが、理由について
3 融資関係について
一部の英会話学校に今年になって業務停止命令が出ているが、和光市において英会話学校等の融資関係はどうなっているか
4 建設関係について
(1) 公園、河川等の草刈単価について
(2) 今年度の雪害対策について
(3) 道路補修と維持年数について

吉田けさみ（日本共産党）

- 1 貧困と格差是正のために社会保障制度の充実と負担軽減を
(1) 来年4月から実施される後期高齢者医療制度は、75歳以上の市民に医療を制限し、かつ保険料を介護保険と同様に年金から引き、滞納すれば保険証を奪う過酷な中身であり、和光市独自の負担軽減策を求める
(2) 国保税の滞納者は、所得0から200万円に8割が集中している。国保税の引き下げを
(3) 宙に浮いた年金問題解決のため和光市も積極的な対応を
2 保育行政について
(1) 現消防署が国有地へ移転後に土地をいかし、老朽化したひろさわ保育園の建てかえを。認定子ども園は、県条例の内容と市民ニーズに隔たりがあり再考を
3 入札問題について
(1) 公契約条例を制定し雇用ルールの確立を
4 外環上部の丸山台地区は市が6億3,000万円を投じた場所であり、緑地にするなど住民要求の把握を

齊藤秀雄（新緑会）

- 1 新倉小学校、通学路の改善要望
(1) 中新田通り（谷戸橋付近）
① 路上駐車が多くガードレール内の歩行ができない場合が多く危険なため、路上駐車を取り締まり強化を
(2) 中新田通り（谷中川付近）
① 道幅が急に狭くなり、カーブで見通しが悪い状況です。グリーンベルトの延長を
② 池上たばこ店前の交差点
③ 信号待ちの場所が狭く電柱が歩道をふさいでいる。交通指導員の配置を
(4) 「新倉小前」のバス停付近
① 雨天時に大きな水たまりができる。ガードレールもない。排水設備と歩道の整備を
2 芝宮通りと芝宮橋の歩行帯の確保
(1) 芝宮通りは両側に草木が歩行帯にまで覆われていて車道に出なければ歩行できない。また芝宮橋上はポール状の障害物が両側にあり、通行に非常に危険。障害物の撤去を要望

熊谷二郎（日本共産党）

- 1 教育行政
(1) ゆきとどいた教育の実現のため
① 学校選択制導入について
・目的、時期、進め方について
② 全国学力テストの参加意義と結果の取り扱いについて
(2) ふるさと民家園の今年度の運営について
2 まちづくり行政
(1) 道路整備実施計画について
① 整備路線と関係住民との合意形成について
② 生活環境と通行車両規制
(2) 公共事業（区画整理事業）における住民とのトラブル対策
3 ごみ処理問題
(1) プラスチック製容器包装リサイクル事業について
(2) ごみ処理施設の広域化計画について
4 行財政
(1) なぜ包括予算制度を導入するのか、導入に伴う幾つかの問題点
(2) 財政改革における市の基本的な考え方について

上野君子（日本共産党）

- 1 市民の投票率向上について
(1) 期日前投票の投票所増設について
(2) 投票率向上の取り組みについて
2 国の施設や留保地について
(1) 大口返還財産の留保地や国の施設について
① 裁判所研修施設整備にあたり緑地や公園の整備を図ることについて
3 市民行政について
(1) 市内循環バスの運行改善について
4 市民要望の実現に向けて
1 建築物の耐震改修促進
(1) 和光市の今後の取り組みと見通しについて
5 総合体育館について
(1) 利用状況と駐車場料金の改定について
6 通学路の安全確保
(1) 第四小学校通学路の安全対策について
① 歩道の拡充について
② 交通指導員の増員について

齊藤克己（公明党）

- 1 生活習慣病対策
(1) 市内の生活習慣病の現状
(2) 和光市が明年4月からメタボリックシンドローム対策のため予定している「特定検診・特定指導」について
2 安心・安全な和光市づくりのために
(1) 県内及び市内の最近の犯罪傾向について
(2) 子供や高齢者などに対する消費者教育の充実
(3) 和光市防犯推進連絡協議会の開催状況
(4) 地域防犯力充実のための支援策について
(5) 公園の遊具の破損、安全対策について
3 大気汚染対策
(1) 光化学スモッグ注意報の発令状況
(2) 市内の大気汚染について現状認識と対策

佐久間美代子（日本共産党）

- 1 行財政運営について
(1) 白子保育クラブ建てかえと地域センターの複合施設の建設
(2) 駅出張所の移設と吹上・牛房・新倉地域の出張所について
(3) 大和中体育館改築と土地購入
(4) 公共施設の長期修繕計画
(5) 4カ所の市有地の売却
2 平和行政について
(1) 戦後62年と平和憲法に基づく平和事業の取り組み
(2) 今年度平和事業の参加状況と感想、昨年の平和祈念展との対比
3 新設校の計画について
(1) 児童数が最大の白子小学校の現状と対策
(2) 白子小学校区の住宅急増の実態と対策
4 子ども医療費助成の拡充を
(1) 「窓口払い廃止」の準備状況と課題について
(2) 子ども医療費助成の年齢拡大の実現を
5 道路整備について
(1) 歩行者の安全対策と実施計画
(2) 私道の受け入れ基準と私道整備

松本武洋（新しい風）

- 1 財政健全化と監査委員の役割
2 駅南口広場と駅前通りの整備
(1) 広場改良の検討状況と広報
(2) 広場と通りの一体的デザイン
3 情報公開条例の改善
(1) 請求者の制限は外すべきでは
(2) 文書不存在時の対応改善を
4 幼稚園と認定子ども園
(1) 認定子ども園の進捗状況
(2) 県による私立幼稚園児向け補助の改善を
5 情報セキュリティ体制の拡充
(1) 中学校の個人情報保護事故への対応
(2) 情報システム監査等セキュリティ対策の実施状況
(3) PCのパスワード管理体制と生体認証等導入の可能性
6 市民参加条例の改善と自治基本条例
7 寄附条例の制定を

阿部かをる（公明党）

- 1 後期高齢者医療制度（平成20年4月からスタート）
(1) 保険料の軽減対策
2 特定疾患（難病）見舞金の拡充
(1) 行政評価（市民施策会議における）をどう施策に反映するのか
(2) 来年度から実施される包括予算編成過程の公開
(3) 「財政白書」「わかりやすい予算書」の作成
4 循環バス、朝・夕の増便とバス停の見直し
5 ポケットパークの設置（協和橋）

荻野比登美（和光市民ネット）

- 1 財政計画の修正
(1) 平成20年度予算編成の財政基本方針と、予算規模の見込みについて
(2) 自治体財政健全化法への対応はどうしているか
2 医療・介護
(1) 国の医療費削減施策への市の対応
① 後期高齢者医療制度導入への準備
② 市の予防強化施策
③ 療養病床が削減されるので行き場のない人のベッド確保はできるか
④ 第4期介護保険事業計画に向けて
⑤ 上記施策のための組織体制
3 教育委員会改革
(1) 改革についての教育長の考えは
(2) 一部学校選択制導入と新設校構想
(3) 放課後子ども教室の実施と課題
(4) 市民との協働による教育行政のあり方
4 ごみ処理
(1) 焼却場の更新は、5市の広域で行うのか

野口保（緑風会）

- 1 行財政について
(1) 実施計画と今後の財政運営について
① 高齢化社会に向けた社会保障制度を後期実施計画の策定及び予算編成の中で、どう折り合いを図っていくのか
② 将来の財政数値をどのように推測し、財源の確保について、どのように考えているのか
③ 実施計画と集中改革プランに示された債務残高等の数値目標は
④ おのおのの計画と数値の関係について議会に示すのか
⑤ 特別会計に一般会計より多額に繰り入れされていますが、特に下水道会計で毎年繰り入れられている繰入金、市債、公債額との関係を説明願う
⑥ 市民要望の多岐、細微化や地方分権による担任事務増加に伴う適正な職員配置を要望

議案・請願の結果

報告案件は除く。件名は、紙面の都合上要約してあります。

9月定例会市長提出議案

○：賛成 ×：反対

件名	会派名 () 内は所属人数	緑風会 (5)	公明党 (4)	日本共産党 (4)	新しい風 (4)	和光市民ネット (1)	和光を良くする会 (1)	社会民主党 (1)	新緑会 (1)	議決結果
市長の資産等の公開に関する条例等の一部を改正する条例を定めることについて		○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
和光市特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて		○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
和光市税条例の一部を改正する条例を定めることについて		○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
和光市都市計画税条例の一部を改正する条例を定めることについて		○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
和光市老人医療費の支給に関する条例を廃止する条例を定めることについて		○	○	×	○	○	○	×	○	原案可決
和光市国民健康保険条例の一部を改正する条例を定めることについて		○	○	×	○	○	○	×	○	原案可決
和光都市計画事業和光市駅北口土地区画整理事業施行規程を定めることについて		○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
都市計画法に基づく市街化調整区域における開発許可等の基準に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて		○	○	○	○	○	○	×	○	原案可決
市道路線の認定について		○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成19年度埼玉県和光市一般会計補正予算(第3号)		○	○	×	○	○	○	○	○	原案可決
平成19年度埼玉県和光市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)		○	○	×	○	○	○	×	○	原案可決
平成19年度埼玉県和光市老人保健特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成19年度埼玉県和光市介護保険特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成19年度埼玉県和光市下水道事業特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成18年度埼玉県和光市一般会計歳入歳出決算の認定について		○	○	×	○	○	○	×	○	認定
平成18年度埼玉県和光市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について		○	○	×	○	○	○	×	○	認定
平成18年度埼玉県和光市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について		○	○	×	○	○	○	×	○	認定
平成18年度埼玉県和光市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について		○	○	×	○	○	○	×	○	認定
平成18年度埼玉県和光市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について		○	○	×	○	○	○	○	○	認定
平成18年度埼玉県和光市水道事業決算の認定について(請願)		○	○	×	○	○	○	×	○	認定
公共住宅居住者の居住の安定に関する意見書の提出を求める請願		○	○	○	○	○	○	○	○	採択

聴覚障害者の方へ

本会議の傍聴を手話通訳、要約筆記でどうぞ



耳の不自由な方で本会議の傍聴を希望される方には、手話通訳者または要約筆記者を手配することができます。(派遣費用は無料です)

傍聴希望の方は、あらかじめ議会事務局庶務担当へご連絡ください。

■ファックス番号 ☎048(463)2835

■E-mail:gikai@city.wako.saitama.jp

12月

12月定例会の開催予定

- 6日(木) 本会議(開会)
- 11日(火) 本会議(議案質疑)
- 12日(水) 委員会
- 13日(木) 本会議(一般質問)
- 14日(金) 本会議(一般質問)
- 17日(月) 本会議(一般質問)
- 18日(火) 本会議(一般質問)
- 19日(水) 本会議(一般質問)
- 21日(金) 本会議(閉会)

(変更の場合もあります)

※正式な日程は12月4日(火)開催の議会運営委員会で決定する予定です。

※請願・陳情の締め切りは12月3日(月)午後3時の予定です。

詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

議事調査担当 ☎048(464)1111(内線5225)

編集委員会

- 委員長 野口 保
- 副委員長 吉田 けさみ
- 委員 松本 武洋
- 委員 齊藤 克己
- 委員 山本 軍四郎
- 委員 並木 修二
- 委員 山口 慶子
- 委員 齊藤 秀雄
- 委員 荻野 比登美

会派構成

- 緑風会 堀、栗原、田中、野口、柳下
- 公明党 山口、阿部、村田、斉藤(克)
- 日本共産党 佐久間、吉田、熊谷、上野
- 新しい風 須貝、松本、井上、西川
- 和光市民ネット 荻野
- 和光を良くする会 並木
- 社会民主党 山本
- 新緑会 齊藤(秀)
- 議長 菅原(会派に属せず)